

# 万博公園探鳥会

2023年2月11日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
有賀憲介・平軍二(090-6901-1425)

## 1. 千里の鳥・万博の鳥「ジョウビタキ雄」

(写真 有賀憲介)



今月の鳥はジョウビタキの愛らしい姿、木の上において地上にいる小動物などの餌を探し、見つかりと飛び降りて採餌、また木に戻るといった行動を繰り返す。今月の写真ジョウビタキの雄もアネモネの花の間に、昆虫を見つけたと思われる。ジョウビタキはあまり遠くへ飛ばないので、離れた所から見ていると視界から離れず、ジョウビタキの姿をずっと追いつけることができる。またジョウビタキは木の実・草の実も好きで、ナンキンハゼやヘクソカズラの実を食べる。私(平)は「皆さんの家の周辺にあるヘクソカズラの実は、ジョウビタキの冬の餌になっていますよ」と説明している。

先月のモズと同様、縄張りをもって生活しているが、縄張り意識が非常に強く、車のサイドミラーに映った自分の姿を見て侵入者と思い攻撃することもある。

ジョウビタキはくちばしの先から尾までの体長が14 cm、ほぼスズメと同じ大きさの小鳥である。チベットから中国東北部、沿海州、バイカル湖周辺で

繁殖し、非繁殖期は日本や中国南部などへ渡り越冬する。日本では主に冬鳥として全国に渡来するが、近年、長野県・岐阜県や北海道での繁殖が確認されつつあり、今後国内で繁殖地を拡大するかどうか興味がある。

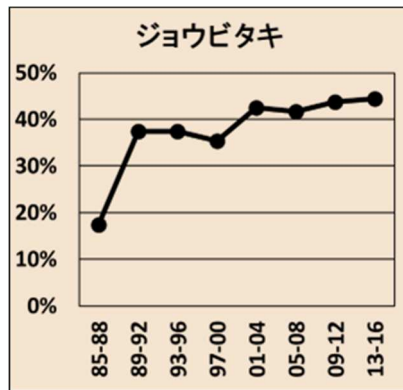
ジョウビタキの名前の由来は、「ヒッヒッ」という地鳴きが火打石をたたく音に似ているとして「ヒタキ」、ジョウは「尉」と書いて老人のこと、ジョウビタキ雄の頭が老人の白髪頭に見立て、ジョウビタキと名がついたとのことである。(★1)

鳥の図鑑には種名と科名が書かれるが、この名称は最新版「日本鳥類目録(日本鳥学会)」に準拠している。現在発行中の図鑑は改訂第7版(2012年)に準拠しているが、古い図鑑と科名(や種名)が変更されていることがあり、ジョウビタキは科名が違っている。

- ・日本の野鳥 590(2000年)スズメ目 **ツグミ科**
- ・日本の野鳥 650(2012年)スズメ目 **ヒタキ科**

(真木・大西著 平凡社発行)

日本鳥類目録は、改訂第6版(2000年)までは、鳥の形態を中心に目・科・属・種が決まっていたが、第7版では分子系統的手法(遺伝子解析結果)が取り入れられた。この結果、ジョウビタキ・ツグミなどツグミ科の鳥はすべて、キビタキなどのヒタキ科に統合され、ツグミ科は無くなった。



現在日本鳥類目録改訂第8版が検討されているが、発刊時には分子系統的手法の最新結果が反映され、科名・属名の変更があると予想される。さて、万博公園のジョウビタキ、万博探鳥会の記録を見ると左図(★2)のように、探鳥会を開始した1985年頃ころはあまり観察できなかったが、今では冬の約5か月間、万博公園で越冬していることがわかる。

- ★文献1 国松俊英「名前といわれ日本の野鳥図鑑」  
偕成社 1995年
- ★文献2 " 2 平軍二「万博公園定例探鳥会記録」

## 2. 1月モニタリング結果より

1月定例探鳥会開催日(1/14)は雨で中止したため、1/29(日)リーダーのみによるモニタリングを行った。

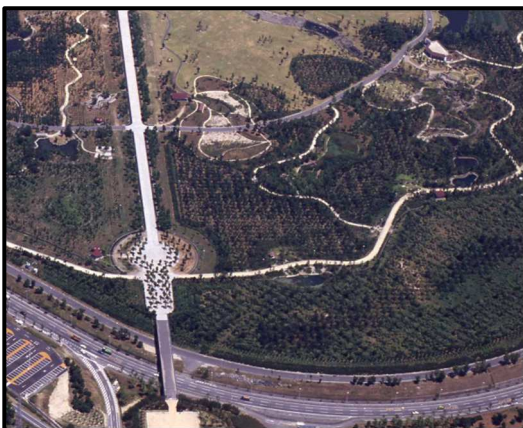
1月下旬はこの冬一番の冷え込みとなり、北近畿や北陸地方に積雪があり、餌が取れなくなったか、ツグミが南下したと思われる10羽・20羽のツグミの群が何回も上空を飛び、シロハラも多かった。アトリ・カワラヒワもアキニレの実を求めて飛び、樹上に少なくなった所では地上に降り、落ちた実を群でついばんでいた。また、日本庭園の高台にある休憩所西側からアオバトが飛び、トータル8羽になって迎賓館西側におりた。深山の泉北側のメタセコイアを探すと、3羽並んで止まっているのを確認できた。



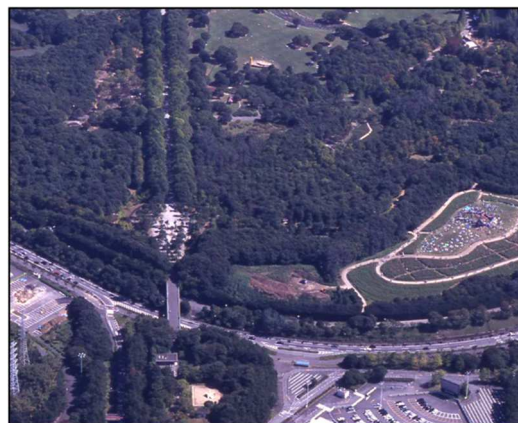
↑アオバト3羽(田中宏)

種数は32種にとどまったが、冬鳥の個体数が増えていた。

## 3. 万博公園の変遷①



1982年(万博終了後12年)



2000年(万博終了後30年)

先月から万博公園の森の変遷について、説明することにした。先月は、平が「万博公園の森の変化と鳥」に気づいた2枚の万博公園空中写真を表示したが、先月の探鳥会が中止になったこともあり、今回リサイズして再録する。

この空中写真は、2004年万博探鳥会20周年のデータをまとめたとき、当時の万博機構より頂いた。万博公園探鳥会をスタートした1985年ころ毎月観察できたキジが、徐々に減り、探鳥会では1998年5以降、姿・声とも確認できていない。キジがなぜ減ったか、いなくなったか、その答えを出してくれたのが、この空中写真である。

この空中写真から、公園に植えられた木が小さい時は、木々の間に草が生えていて、園内全体が草はら状態にありキジの天国であった。しかし木々が大きくなるとともに草はらが無くなり、キジが住めなくなると推定される。

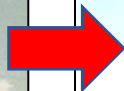
## 万博公園の変遷②

今月は万博公園の建設直後と、最近の変遷を示す写真を比較する。

建設直後

最近の状況

わくわく冒険広場東側



けやきの丘



水車小屋



上の3例は万博公園事務所の記録写真、約50年間の変化なので、景観が大きく変化しています。実際の景色は毎年少しずつ変わっているので、10年～20年毎に確認すると、違いが見えると思います。同じ場所・同じ建物・同じ樹林・同じ木、そして同じ人を記録して残しておきたいですね。

# 4. 万博公園探鳥会、今年は 39 年目に入ります

万博公園探鳥会は今から 38 年前の 1985 年(昭和 60 年)2月 16 日に、初めて開催しました。

①千里タイムズに探鳥会案内掲載→  
(現在まで 38 年間継続して頂いている)

↓②第 1 回目の探鳥会資料  
(中野義弘氏作成)

**万国博記念公園探鳥会**  
1985・2・16 (土)  
日本野鳥の会大阪支部

1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たって、樹木も繁り、四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

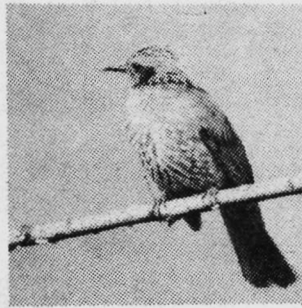
↓③当日の観察種名リスト

カイツブリ、コサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ハイタカ、コジュケイ、キジ、バン、キジバト、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 34 種

- ①当時ドバトは記録せず
- ②リスト順は鳥類目録第 5 版 (1974 年)による

## 万博公園で初の探鳥会 野鳥との出合いを

日本野鳥の会大阪支部



探鳥会で一番見かける「ヒヨドリ」

日本野鳥の会大阪支部では、きたる 2 月 16 日(土)に万博公園探鳥会、また翌 17 日(日)には箕面公園定例探鳥会を開催する。

日本野鳥の会は、先月にくらべた中西悟堂氏の提唱により戦前からつくられている趣味の団体。本部は東京に置かれており、全国 50 数か所に支部を持ち、会員も 1

万 3 千人を越えている。一方、大阪支部も戦前からある歴史的な組織で、現在、1 千人強の会員が加入している。

実際の活動としては、「鳥の声を聴き、鳥を見て楽しむ」という基本理念の下、本部では全国的な自然環境の悪化という社会状況から、特に野鳥の保護に力を入れている。これは、各地方に鳥がすみ

る環境をつくっていくというもので、いわば鳥を驚かせず観察できるサンクチュアリー(聖域)の整備。ただ、専門家集団ではなく、仕事をしながらのボランティア主体というのが特徴。また、大阪支部も、府下の野鳥の生態系の調査なども行っているが、メインとしているのが、多くの人々に、鳥を見ることによる楽しさを知って

万博公園探鳥会は、2 月 16 日(土)午前 9 時 30 分、太陽の塔前で集合。公園内をゆくり見て歩

万博公園での探鳥会ははじめてのころみだが、万博 10 周年記念事業のひとつとして、昭和 55 年度に「野鳥の森」が整備されており公園全体で約 50 種類の野鳥が確認される。問い合わせは電 0727-232651、吉村理一さんへ。

また、翌 17 日(日)の箕面公園定例探鳥会は、午前 9 時に阪急箕面駅に集合。大阪から最も近い山野の鳥の豊庫だけに、カラ類、ワシタカ類、キツキ類などが見られる。問い合わせは電 06-877-1692、塩田 猛さんへ。

← 1985 年 2 月 16 日はアキニレに集まるカワラヒワの群に歓声が上がりましたが、今日はアトリの群に歓声を、と思っています。リストに今は全く観察できなくなった鳥があり、赤字で示しました。いずれも草原の鳥であることがわかってもらえると思います。一方最近よく観察できる鳥で当日確認できなかった山野の鳥の万博探鳥会初認は、アトリ(86 年 1 月)、ヤマガラ(88 年 1 月)でした。

## 5. 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

種名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	種名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	9	14	11	9	27	10	8	12	10	29	11	11		9	14	11	9	27	10	8	12	10	29	11	11
1 24 オシドリ													50 463 ヒヨドリ	27	8	6	12	9	11	43	27	42	60		
2 26 オカヨシガモ	1												51 464 ウグイス	9	12	3	5			1	1	1	2		
3 27 ヨシガモ											1		52 465 ヤブサメ												
4 28 ヒドリガモ													53 466 エナガ	4	10	6	4	7	2	27	10	6			
5 30 マガモ		3									1		54 477 メボソムシクイ												
6 32 カルガモ	24	14	2	8	7	8	12	15	4	23			55 479 エゾムシクイ												
7 35 オナガガモ													56 480 センダイムシクイ												
8 38 コガモ												6	57 485 メジロ	25	6	8	20	19	29	17	11	26	30		
9 42 ホシハジロ													58 492 オオヨシキリ												
10 46 キンクロハジロ													59 501 ヒレンジャク												
11 58 ミコアイサ													60 506 ムクドリ	23	18	9	88	2		2		1			
12 62 カイツブリ	9	8	3	14	5	4	6	3	6	10			61 508 コムクドリ												
13 74 キジバト	13	12	3	5	2	5	7	1	1	3			62 514 トラツグミ												
14 78 アオバト	1	2									8		63 521 シロハラ	22								1	20		
15 127 カワウ	9	11	5	2	3	3	3	2	3	2			64 522 アカハラ	2											
16 139 ゴイサギ													65 525 ツグミ	26								6	134		
17 144 アオサギ	1	1	1	2	2	2	1	4	2	2			66 530 コマドリ												
18 146 ダイサギ	1												67 536 ルリビタキ								1	1	3		
19 148 コサギ		1						1			2		68 540 ジョウビタキ								3	6	3		
20 174 パン					2	2				2			69 542 ビタキ												
21 175 オオパン	1												70 549 イソヒヨドリ					2	2				1		
22 187 ツツドリ													71 552 エゾビタキ									3			
23 192 アマツバメ													72 554 コサメビタキ								4	8			
24 195 ケリ													73 558 キビタキ		5	3					2	1			
25 202 イカルチドリ													74 561 オオルリ	1											
26 203 コチドリ													75 568 ニュウナイスズメ	2											
27 219 タシギ											1		76 569 スズメ	31	49	33	102	33	48	42	22	71	39		
28 244 イソシギ													77 573 キセキレイ					1		4	1	4	2		
29 286 ユリカモメ													78 574 ハクセキレイ	4	4	1	3	34	28	6	10	14	12		
30 339 ミサゴ													79 575 セグロセキレイ	2	2	3	3	3		1		2			
31 340 ハチクマ											1		80 580 ピンズイ										3		
32 342 トビ	2												81 584 タヒバリ												
33 354 ツミ													82 586 アトリ	12							43	48	65		
34 355 ハイタカ											2	3	83 587 カワラヒワ	21	16	14	46	1	1		12	7	21		
35 356 オオタカ													84 600 シメ	3									1		
36 357 サシバ								1					85 602 イカル	2		1		1		2		1			
37 358 ノスリ												1	86 610 ホオジロ												
38 383 カワセミ		1	2	1	3	2	3	2	2	2			87 617 カシラダカ												
39 390 コゲラ	6	6	5	1	4	4	2	2	6	6			88 624 アオジ	7								1	5	4	
40 401 チョウゲンボウ	1				1								89	ドバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41 407 ハヤブサ													90	ソウシチョウ	2										
42 412 サンショウクイ													91	カッコウSP											
43 418 サンコウチョウ													92	ムシクイSP								1	1	2	
44 420 モズ								7	1	4	3		93	タカSP											
45 435 ハシボソガラス	4	17	12	18	14	7	6	7	15	4			94												
46 436 ハシブトガラス	127	23	13	31	33	54	43	73	54	71			種類数(種)	37	27	24	22	28	26	30	28	34	32		
47 442 ヤマガラ	6	6	5	4	11	13	11	6	12	7			個体数(羽)	477	277	156	383	219	260	289	279	373	565		
48 445 シジュウカラ	36	24	10	7	14	23	20	12	15	21			天候	晴	晴	曇後雨	曇時々雨	曇時々雨	晴	晴	晴	晴	晴		
49 457 ツバメ	10	15	8	7	4	1	7						参加者数(人)	5	12	16	10	5	16	33	28	28	4		
50 459 コシアカツバメ	3				1	3																			

次回 3月11日(土) 9:30 自然文化園中央口

日本野鳥の会 HP より fomuzs 方式でお申し込みをお願いします。

(fomuzs 方式を使い慣れていない方は、平あてにメール or 電話をお願いします。)